

誕生から終末期まで 地域・医療・世代をつなぐ急性期病院

使命 医療人として組織として社会に貢献する

理

訪れたとき、いつも「ほっ」としてもらえる病院である よりよい医療を提供するために「一歩前へ」を目指す 病院は地域の財産、職員は病院の財産である

さらなる連携の推進と信頼される病院づくりを続ける



社会医療法人 母恋 理事長 有賀 正

社会医療法人母恋は、"医療人として組織として社会に貢献する"ことを使命 とする、札幌の天使病院と胆振地区の日鋼記念病院を含めた複数の医療機関 から構成される組織です。救急医療やへき地医療、周産期医療など特に地域で 必要な医療の提供を担う医療法人を社会医療法人として認定することが 2008年に都道府県に制定され、認定を受けた私たちには高い公益性が求めら れています。

私は、これまで主に北海道大学大学院医学研究院・北海道大学病院に勤務 してまいりました。これまでの仕事とは全く異なるものとなりますが、良い医 療を実施して病院経営を改善し、全職員の生活を守ることが私の責務と理解 し、私なりに努力する所存です。天使病院も日鋼記念病院も創設が同じ1911 (明治44)年ということで浅からぬ縁があり、物理的な距離を超えて連携を強 め、活力ある組織運営に努めています。

社会医療法人母恋は、これまでもそれぞれの地域で私たちの役割を明確に し、他の医療機関ともよく連携して調和と協調を進めてきました。地域の皆様 に最良の医療を提供するために、優秀な人材を育成し、最新の医療器械を整 備する努力を続けるとともに、希少な資源を有効に活用していただけるよう に情報を発信し、皆様からより一層の信頼を得られるような病院づくりにこ れからも邁進いたします。

生命、世代、地域をつなぐ病院でありたい

天使病院は1911年にキリスト教的愛と奉仕の精神のもと聖母会の7人のシスターにより開設され、その 後百余年に渡り着実に歩を進めて今の天使病院を築いてきました。少子高齢化の今、周産期医療と成人医療、 中でも高齢者医療の重要性が増してきています。

当院の特徴は、妊娠期から新生児期にわたる一貫した高度な周産期医療と子供達の健康を守り育てること のできる小児科医療とともに、成人、高齢者医療と、誕生から終末まで切れ目のない医療を提供しているとこ ろと自負しています。最近ではさらに、周辺の医療機関と更に連携を深めて緊急要請にも柔軟に対応できる 救急医療体制を構築し、地域の中核的総合病院としてさらなる貢献を目指しているところです。

『病院は地域の財産、職員は病院の財産』という法人の理念の通り、厳しい医療情勢の中、患者さんの健康 を守り病院と職員を守り、より良い医療を提供するために力を尽くす所存ですので宜しくお願いいたします。



天使病院 院長 西村 光弘

地域とともに進化し続けます

訪問看護

訪問介護

かかりつけ医

連携

連携

地域

医療施設

福祉施設

患者さん

高度医療機関

大学病院

救命救急病院

連携

連携

天使病院



天使周産期母子センター

産婦人科・NICU・小児科

診療第1部・診療第2部

消化器内科、血液内科

循環器内科·人工透析内科、呼吸器内科

糖尿病·代謝内科、精神科、外科·乳腺外科 小児外科、整形外科、形成外科

耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科

鼠径ヘルニア・臍ヘルニアセンター



健診センター

予防・早期発見

天使訪問看護 ステーション

在宅療養サポート

天使こども ディサービスセンタ -

病後児保育



天使病院関連施設

〈室蘭〉

日鋼記念病院

東室蘭サテライトクリニック

老人保健施設 母恋

日鋼記念看護学校

札幌

〈登別〉 登別記念病院





天使周産期母子センター

妊娠初期から小児期までの幅広く、切れ目のない医療を提供しています

地域周産期母子医療センターの指定を受けており、MFICU (母体・胎児集中治療施設) 6 床、NICU (新生児集中治療施設) 15 床、その後方ベッドである GCU (継続保育室) 11 床を有しています。産婦人科、NICU、小児科のみならず、新生児や小児に関連の深い眼科、耳鼻咽喉科、小児外科や母体を支える内科系、外科系診療科との円滑なチーム医療で妊娠初期から小児期まで切れ目ない医療を提供しています。

産婦人科

多胎妊娠、妊娠高血圧症、前置胎盤、切迫早産などのハイリスク妊娠を多く取り扱う高度な医療を提供する一方、「お産の天使」として産院の役割も果たしています。出生前診断外来を開設しており、院内の遺伝子検査室では専門スタッフが羊水検査(染色体検査)などの出生前検査を行っています。また、婦人科領域では腹腔鏡による卵巣腫瘍の摘出、子宮外妊娠の診断や治療などを行っています。



NICU

ゆとりのある療養環境と充実の治療環境、安全性、清潔環境が揃っています。GCUが隣接しており、NICUからの継続した診療が可能です。多胎(おもに双胎)の入院数が多いこと、新生児消化器疾患の手術が必要な患児を積極的に受け入れていることが特徴です。新生児専門医師の育成にも力を入れています。



小児科

感染症などの急性疾患から遺伝性疾患まで、こどものあらゆる疾患に幅広く対応しています。午前は一般外来、午後はアレルギー疾患、心疾患、神経疾患、内分泌疾患、小児血液疾患、染色体異常など専門外来と各種予防接種を行っています。地域の医療機関からの紹介入院も数多く受け入れています。



診療第1部

豊富な経験と高い専門性を持つ6つの診療科によって構成された内科系部門

互いの専門性を活かし、緊密な連携を図りチーム医療を推進。救急から在宅まで継続した医療、"その人らしさ" を守る医療を提供しています。

2 消化器内科

消化器を中心とした悪性疾患の早期発見・早期治療が大きな役割のひとつです。内視鏡による消化管疾患の診断、必要に応じて内視鏡治療やピロリ菌の除菌治療を行っています。 脂肪肝、アルコール性肝障害などの代謝性肝疾患やウイルス性肝炎・肝硬変の診断と治療、胆道疾患や膵疾患の診断や内視鏡治療も行っています。

⋒ 循環器内科・人工透析内科

循環器疾患一般の専門的な治療を行っています。特に虚血性心疾患や末梢動脈疾患の心臓カテーテル検査・治療を積極的に行っています。また、透析室も管理しており、糖尿病性腎症、高血圧性腎障害や慢性糸球体腎炎などの慢性腎疾患の検査・治療や急性腎障害、末期腎不全などに対する血液浄化療法(透析)を行っています。

₩ 糖尿病・代謝内科

糖尿病特有の細小血管障害(腎症・網膜症・神経障害)や、動脈硬化に基づく大血管障害(脳梗塞・心筋梗塞・狭心症・閉塞性動脈硬化症など)などを頸動脈エコー・脳MRI・腹部エコー・CTなどの検査を行い、確認しながら血糖値をコントロールします。糖尿病予備軍である境界型に対するフォローや動脈硬化の原因となる脂質異常症の診断と治療も重視しています。

🙆 血液内科

無菌治療室を5室(トイレ、シャワー付)完備しています。急性白血病、再生不良性貧血、骨髄異形成症候群の治療および末梢血幹細胞移植に対処しており、化学療法による悪性リンパ腫や多発性骨髄腫の外来治療も行っています。中規模病院の利点を生かし、患者の病状の変化に対応した迅速な入院治療が可能です。

₩ 呼吸器内科

専門的な呼吸器疾患全般の治療を行っています。超音波内 視鏡を導入した気管支鏡や胸腔鏡検査、在宅人工呼吸器治 療、また禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群の専門外来も行っ ています。患者さんの社会的背景に沿った最善の結果が得 られるよう他科の医師、看護師、理学療法士、ケースワー カー、管理栄養士との連携を積極的に行っています。

○ 精神科

脳と心の病気を扱う診療科です。対象疾患は認知症、気分障害(うつ病、双極性障害)、神経症(不安障害、パニック障害、強迫性障害)、統合失調症などです(現在新患は認知症に限定)。最新の神経画像検査による認知症の早期発見と鑑別診断に取り組んでおり、認知症の専門治療を行っています。当科は入院病棟はありませんが、他科入院患者さんへの精神的な対応も行っています。



内視鏡室

個室性が高くプライバシーに配慮。 トイレ完備。4室。



透析室

オンラインHDF対応、全台コンピューター 集中管理。ビジター透析にも対応。15床。



化学療法室

がん化学療法認定看護師が副作用をより軽減できるよう支援。リクライニングベッド3床を含む10床。

診療第2部

新生児から高齢者まで専門的で幅広い知識と技術が集結する外科系部門

患者さんの特性に合わせた最善の治療や手術を選択。周産期部門、内科部門を支え、高い専門性と幅広い知識と技術で地域医療に貢献しています。

外科·乳腺外科

消化器を主体に呼吸器、内分泌、血管外科、乳腺外科の広い分野をカバーし、低侵襲手術を目指した鏡視下手術や硬化療法などを取り入れています。高齢者や合併症のあるかたも安全、安心に治療を受けられるよう努力しています。

❷ 小児外科

小児独特の状態や成長・発達を含めた将来像を考えながら、小児科やNICUと強力に連携して治療しています。患者さんは北海道全域から受入れており、いついかなる時も断らない体制で臨んでいます。

4

鼠径ヘルニア・臍ヘルニアセンター

小児から高齢者まで、幅広く鼠径ヘルニア(脱腸)、臍ヘルニア(でべそ)の 患者さんを受け入れています。

🔞 整形外科

運動器、関節を動かす筋肉・腱・神経などの病気やケガ、首から腰・手・足の痛みや、動かない・動きづらいなどの機能障害の治療を行っています。最近若年層にも増加している外反母趾の治療や、骨粗しよう症の診断・治療および高齢者の骨折治療にも積極的に取り組んでいます。

₩ 形成外科

2017年に新設。北海道大学形成外科の非常勤医師による月 2回の外来診療を行っています。対象疾患は先天異常、母斑・ 色素斑、血管腫、褥瘡・下肢潰瘍、傷跡、瘢痕の修正など幅広 く、手術にも対応します。病状や手術内容に応じて、北海道大 学をはじめ適切な医療機関へご紹介させていただきます。

⑦ 耳鼻咽喉科

みみ・はな・のどの病気、甲状腺や唾液腺腫瘍などの頭頸部 領域の病気に関する外来及び入院治療、手術治療を行って います。特に小児の中耳炎や睡眠時無呼吸、アデノイド、扁桃 などの治療に力を入れています。最新鋭の耳用内視鏡システ ムや鼻副鼻腔手術ナビゲーションシステム、咽喉頭手術用ラ ジオ波メスなどが揃っており、的確かつ安全な手術治療を 提供しています。

◎ 眼科

眼瞼・白内障・緑内障・糖尿病網膜症・斜視・弱視など眼の疾患全般に対応しており、白内障手術、眼瞼手術など各種手術を行っています。また、レーザー治療や加齢黄斑変性症などに対する抗VEGF療法も行っています。視能訓練士が眼科一般分野の視機能検査から専門的な斜視や弱視の訓練・治療にも対応しています。

新生児から100才を超える超高齢者まで、幅広い年齢層の様々な病態における手術の麻酔に対応し、麻酔科専門医による安全で質の高い医療の提供と周術期管理を実践しています。各科からの要望に応じて日帰り麻酔や和痛分娩(現在、休止中)にも対応。西洋医学と東洋医学を組合せながら治療するペインクリニックも紹介制で行っています。

©有限会社リーグラフィ



リハビリテーション室

広い理学療法、作業療法のスペースの他、小児リハビ リのスペースも確保。言語療法室、水治療室も整備。



手術室

最新型の手術台システムや映像システムを 導入。中央クリーンホール型手術室。5室。



救急外来

24時間365日体制で救急患者さんを受け 入れています。

質の高い、専門的な医療を実現するために

全ての職員がそれぞれの分野で専門性を発揮し、スムーズかつタイムリーな情報の共有と当院の誇る強固な協 力体制でチーム医療を推進しています。



診療部

各科・各部門間の連携 が緊密で、救急から在 宅まで継続した医療が 可能です。経験豊富な 医師が若い医師の研 鑽を積極的にサポート するなど、次世代を担 う医師の育成にも力を 入れています。



看護部

患者さんやご家族の思いを大切 にし、専門的で質の高い看護を 提供できるよう日々努力を重ね ています。豊かな人間性と、確か な知識、技術を持つて自律した 看護を提供できる看護師の育 成に力を注いでいます。



事務部

医事課、診療情報管理課、システム総括室、中央 図書室、総務課、人事課、経理課、広報課、用度 課、施設課で構成されています。病院を適正か つ円滑に運営できるよう、また患者さんはもち ろん職員にとっても快適な環境を整備できるよ う、縁の下を支えることが私たちの役割です。



患者サポートセンター

地域の医療機関や施設とのつなぎ役として、 また、医療、介護、福祉に関する相談を受け、 よりよい療養生活が送れるよう患者さんや ご家族のサポート役として、地域医療連携 室、医療福祉相談室、患者支援室が連携し て業務を行っています。



健診センター

生活習慣病やがんの早期発見を目的に人間 ドック、各種健康診断、がん検診、認知症リス ク検査を行っています。迅速な検査と専門医 によるダブルチェック、病気の予防と早期治 療に関するアドバイスなど高度かつ丁寧な健 診サービスを提供しています。



薬剤科

入院中の患者さんすべての薬を管理し、薬の相互作用(飲み合わせ)の確認や副作用の防止に努めています。患者さんにとって飲みやすく分かりやすい調剤や説明方法の工夫を常に心がけています。

病気の診断を担う一部門として生理機能検査、検体検査、 輸血関連検査、染色体・遺伝 子検査を行っています。超音 波検査士の有資格者も年々増 え、より高い技術を常に目指 しています。

臨床検査科





リハビリテーション科

整形外科、外科、内科疾患の ほか小児リハビリテーションの 充実も図っています。新生児 から高齢者まで多くの疾患に 伴う様々な障害の評価・リハ ビリテーションを行い、患者さ んの回復に貢献します。 安全、迅速、的確に最良の撮影法を選択して診断、治療に 役立つ画像を作り出します。 患者さんの負担軽減のため検 査時間の短縮に努めています。 安全のための機器や装置の保 守管理も重要な役割です。

放射線科





栄養科

入院患者さんへの食事提供の ほか、外来および入院患者さ んを対象とした個別または集 団栄養指導を行っています。 NST(栄養サポートチーム) の活動や実習生の受入れも積 極的に行っています。 臨床工学技士が人工呼吸器、 保育器、輸液ポンプなど院内 の医療機器の保守、点検、修 理、また透析装置の操作やメ ンテナンス、機械室の管理や 透析に必要な物品管理など透 析業務を行います。

臨床工学室•透析室





臨床心理科

病気に伴う心理社会的な悩みの軽減、心身の健康回復を目指して臨床心理士がカウンセリングを行っています。診断・治療に役立てるため、心理検査を行います。

医療事故および感染の防止、 また医療事故や感染が発生した際の報告体制の整備、被害 拡大防止のための迅速かつ十 分な対応やその方法の構築、 スタッフ教育など全病院的な 活動をしています。

医療安全対策室・ 感染制御室



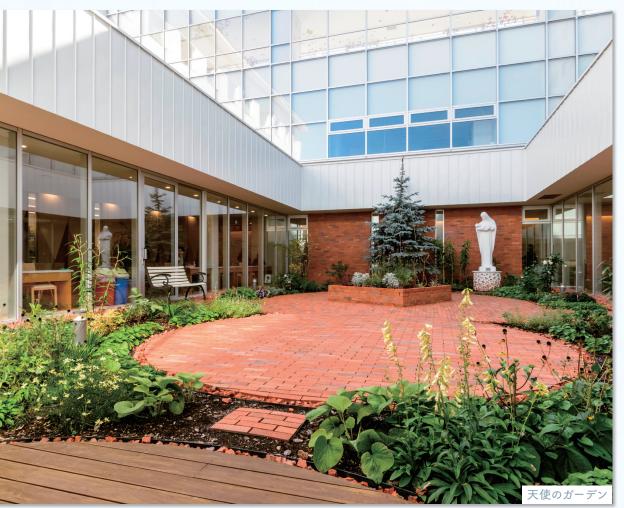


臨床研修室

研修医の視点に立った環境整備を行い、"つらいけれども楽しい研修"を実現します。病院全体で研修医を育てる風土が一つ一つの経験をじつくり噛みしめる研修を可能にしています。初期臨床研修後、その多くが後期研修医として当院に残り継続して活躍してくれていること、また他院で後期研修を受けたのち当院に戻ってきてくれる医師が多いことが特徴です。

施設

ゆったりとした空間設計や自然との調和、またアートを取り入れるなど、「天使病院らしさ」と ともに「病院らしくない」そして「ほっ」としていただける環境づくりをしています。









天使のガーデン …… 四季折々の風景と太陽の光を感じていただくために。

天使ギャラリー …… 通路に沿って続くガラス越しのギャラリー。地域の皆 さんにご利用いただくためのパブリックスペース。

売店 ····・・・・・・ 院内ミニコンビニ「ヤマザキYショップ」。

カフェ ……… 売店のイートインスペースとして。

待合ホール ……… 風に揺れるモビール、カウンターから見下ろす小動物な

ど森をイメージして設計された待合ホール。自動ピア

ノ演奏や有志によるミニコンサートも開催。









ホール。



中央図書室

ワンフロアで約180名を収 病院スタッフだけでなく一般 来院された方の最初の疑問 北洋銀行のATMをご利用い 小児科外来と産婦人科外来 容することができる多目的 の方へも開かれた図書室で や不安にコンシェルジュナー ただけます。 す。司書が常駐。



総合案内

スがおこたえします。



銀行ATM



授乳室

に授乳室を完備。ベビーベッ ドや給湯設備付。

開設者: 社会医療法人母恋 理事長 有賀 正

管理者: 天使病院 院長 西村光弘

沿 革:

1911年 天使病院設立 1952年 社会福祉法人化

2003年 医療法人社団 カレス アライアンスが事業継承

2007年 法人名を医療法人「母恋」に変更

2010年 社会医療法人化

2011年 新病院改築工事開始 開設100周年2012年 周産期母子センター(東棟)オープン

2014年 西棟・北棟オープン

新病院完成 (グランドオープン)



- ・地下鉄東豊線「北13条東駅」より徒歩3分
- ・JR札幌駅北口より車で5分
- ・中央バス (東65・伏古北13条線) 「北13条東4」 より徒歩1分
- ・駐車場150台(有料)

〒065-8611 札幌市東区北12条東3丁目1番1号
TEL.011-711-0101/FAX.011-751-1708 Twitter ID (tenshi_hospital)



https://www.tenshi.or.jp